

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「新簿記 新訂版」安藤英義著（実教出版）
補助教材等	プリント

学習上の留意点

企業の経営活動を対象にして、その構成と行動原理を分析する学問が経営学である。本授業では経営学に初めて接する学生のための講義として、経営学とはどのような学問なのか、またどのような問題を取り上げているのかを身近な事例を用いながらわかりやすく解説し、今後の経営・会計系科目を履修して行く上での基礎固めを図りたい。なお、後半ではビジネスと売買取引の具体的な流れについて学習し、簿記の役割についても言及する。

担当教員からのメッセージ

毎回授業の内容がつながっているので、復習を継続的に行ってください。次回の授業範囲を予習し、経営学の専門用語の意味などを理解しておいてください。

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 経営学の射程	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、および評価方法などを理解できる。 ・経営学の目的や研究対象、学問的特徴などを理解できる。	適宜指示する。
2	企業と経営①	・企業の目的や仕組みを理解できる。	適宜指示する。
3	企業と経営②	・企業形態の種類を理解できる。	適宜指示する。
4	企業と経営③	・株式会社の代表的な構造を理解できる。	適宜指示する。
5	企業と経営④	・株式会社のガバナンスを理解できる。	適宜指示する。
6	企業と経営⑤	・経営組織の種類を理解できる。	適宜指示する。
7	企業と経営⑥	・経営組織の設計と経営戦略との関係を理解できる。	適宜指示する。
8	中間試験		
9	ビジネスの実際①	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・売買取引の一般的な手順を理解できる。	適宜指示する。
10	ビジネスの実際②	・売買取引の種類を理解できる。 ・簿記の役割を理解できる。	適宜指示する。
11	ビジネスの実際③	・売買に関する各種計算方法を理解できる。 ・基礎取引の仕訳ができる。	適宜指示する。
12	ビジネスの実際④	・代表的な代金決済の方法に関して、売掛金・買掛金が理解できる。 ・基礎取引の仕訳ができる。	適宜指示する。
13	ビジネスの実際⑤	・代表的な代金決済の方法に関して、小切手が理解できる。 ・基礎取引の仕訳ができる。	適宜指示する。
14	ビジネスの実際⑥	・代表的な代金決済の方法に関して、手形が理解できる。 ・基礎取引の仕訳ができる。	適宜指示する。
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総授業時間数			30時間